

## 複数メールアドレスを使おう-R1

2018 年 9 月 22 日改訂

2017 年 2 月 1 日

By ミケパパ

複数のメールアドレスを持っていますと、相手によって使い分けができ、分類も便利です。  
この、複数アドレスを取得する方法はいくつかありますが、まず Outlook の場合。

## 1. Outlook の中に複数のアドレスを作る

これは、「複数のアカウントを作る」=「今あるアカウントに、新しいアカウントを追加する」という方法です。この方法では、「受信トレイ」を開いたときに、設定したそれぞれのアカウント(メールアドレス)にやってきたメールを、メールアドレスごとに閲覧できます。

例えば、右は私の例ですが、「一般」というアカウントと「個人事業」というアカウントで、それぞれ別のメールアドレスを登録しています。



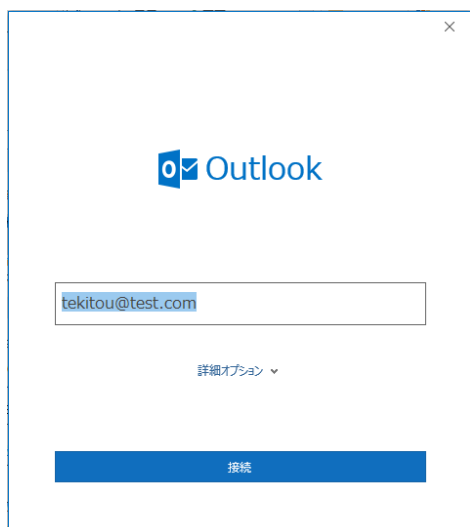
- 1) インターネットプロバイダーとの契約を確認し、所定の手続きにより 2 個目のアドレスを取得しておく。

通常、プロバイダーは複数メールアドレスを提供していますが、プロバイダーごとに「3 個まで無料」とか「1 個ごとに XXX 円」といった制約があります。又、2 個目のアドレスの取得方法も、プロバイダーごとに異なります。

- 2) Outlook を起動し「ファイル」タブをクリック
- 3) 「情報」ページの「アカウントの追加」をクリック



- 4) 追加するメールアドレスを入力し、「接続」をクリック



5) 「POP アカウントの設定」の画面が出たら、パスワードを入力し「接続」をクリック

POP アカウントの設定  
wanichan@momo.gmob.jp (別のユーザー)

パスワード  
\*\*\*\*\*

前に戻る 接続

6) アカウントが正常に追加されたことを確認したら「完了」をクリック

Outlook

アカウントが正常に追加されました

POP  
wanichan@momo.gmob.jp

別のメール アドレスを追加  
メール アドレス 次へ

詳細オプション

完了

Outlook Mobile をスマートフォンにも設定する

7) メールの「ホーム」画面で、新しいアカウントができていることを確認します。

## 2. ウェブメールを使う

ウェブメールとは、「Gメール」「ヤフーメール」などのように、インターネット画面からログインするメールシステムです。これらは、インターネットの検索窓にそれぞれ「Gメール」「ヤフーメール」と入力してウェブサイトを検索し、サイトにいけば登録でき、利用が開始されます。メールアカウント(アドレスの@より前)は、自分で設定できますが、事前に誰かが登録済みだと「別のアカウントを選べ」と言われます。ログインパスワードも自分で設定します。

登録後に出てきたメールのログイン画面を、インターネットの「お気に入り」に追加しておきましょう。

メールアカウントの取得後は、

- 1) インターネットを起動する
  - 2) Gメール(ヤフーメール)のログイン画面にてパスワードを入力する
- 以上でログインが可能です。

この「ウェブメール」が便利なのは、出先・旅先などで、パソコンが変わっても、インターネットに接続さえすればいつでも自分に来たメールが見られることです。これは大きなメリットです。（Outlookなどのプロバイダーメールでは、パソコンが変わるごとにいちいちアカウント設定をしなければなりません）ただし、デメリットもあります。

- ・メールの送受信方法、アドレス帳の使い方など、Outlookとは違いますので学習が必要です。
- ・金融機関によっては、ネット取引の時のメールアドレスとして認めていないものもあります。

「取得したウェブメールのアカウントを、Outlookに登録する」という方法もあります。前述1.6)アカウント設定にて、例えばGメール取得時に得た登録情報を入力すれば、「GメールのアカウントをOutlookで」使用できます。

この方法のメリットは、例えばGメールあてにきたメールは、自宅のパソコン(Outlook)でも受信できますし、同時にウェブサイト(Gメールのサイト)でも受信します。つまり、同じメールを、Outlookとしても、Webメールとしても利用できることになります。

ウェブメールの登録は、原則1人1個ですが、Gメールですと簡単な方法で増やせます。

1) @の前に“+文字列(数字)”を付け加える

例えば、元のアドレスが mikepapa@gmail.com の場合：

mikepapa+keyaki@gmail.com mikepapa+123@gmail.com といった具合。

2) アカウントを”.”(ドット)で区切る

例えば、mike.papa@gmail.com、mikepa.pa@gmail.com など。

これらのアドレスにきたメールは、元のメールアドレスと同じ受信トレイに入ってきますので、大変便利です。

以上